



いちまえ

市前水土里会（太田市）

地区の概要

平地農業地域

- 本地域は、元来、大きな河川が無く水利の悪い地域であるが、大間々扇状地の末端で水の湧き出るところを表す「井」が付く地名が多いくらい湧水に恵まれている。そのため、湧水を利用して水田耕作を行っていた。
- 土地改良事業終了後に待矢場両堰土地改良区に加入、農業用水の受給を開始した。しかし、当地区は、待矢場両堰土地改良区の西端にあり、安定した農業用水の供給を受けることが難しいため、6箇所の手水機場場を利用し配水しており、その維持管理に努めている。

取組面積	26.7 ha (田 26.7 ha)	
資源量	水路	4.9 km
	農道	4.9 km
主な構成員	農業者、水利組合	
交付金	約 198 万円	
	〔 農地維持支払 資源向上支払（長寿命化） 〕	

推薦項目

<input type="checkbox"/> 子供の参画	<input type="checkbox"/> 女性の参画
<input type="checkbox"/> 学校と連携	<input type="checkbox"/> 行政と連携
<input type="checkbox"/> 地域交流	<input checked="" type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input type="checkbox"/> 広報
<input checked="" type="checkbox"/> 環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 工事
<input checked="" type="checkbox"/> 遊休農地解消	

取組内容

- 水路の泥上げ、遊休農地発生防止のための保全管理、農道や水路の草刈りを実施している。
- 水利組合のみでは、取り組むのが難しい大規模な水路の補修や更新、揚水機の補修の対応を実施している。

取組の効果

- 旧行政区を跨いだ水利組合を母体とした活動組織であるが、水路の泥上げや除草作業、環境美化活動、水路の補修作業を行うことで地元住民との相互理解が深まり地域の活性化に繋がっている。
- 農業者だけでなく地域住民にとっても地域資源の保全管理の拡充が図られている。



◇ 水路の草刈り作業



◇ 目地詰め作業風景



◇ 揚水機更新工事